

霧島市 有害鳥獣駆除不正受給

市議と市 主張食い違う

「別の写真 認めていた」「聞いていない」

た。15日の市議会一般質問で中村満雄市議の質問に答えた。

不正受給した市議は2013年度からの4年間で、数十件にわたり同じ個体の写真を使い回すなどして虚偽申請していた。市議は2日の市議会全員協議会で、「市の調査に自主申告し、問題なしとの結論をもらった」と説明した。

市は5月29日、問題の調査結果を公表し、「実際はしていない捕獲をでっち上げたものは確認できなかった」と説明した。この日の議会でも同様の答弁を繰り返すにとどまった。

傍聴した市有害鳥獣捕獲隊長の米満広志さん(65)は「悪質なケースがあり、市の報告は納得いかない。市が幕引きを図るなら全容解明を司直に任せるしかない」と話した。(上野和重)

鹿児島県霧島市の有害鳥

獣駆除報償費の不正受給問題で、不正を認めた市議が

「別の写真を使っていても

市は問題ないとし、県も認

めていた」と主張したが、

市当局は「そのような事実

は聞いていない」と否定し